

令和8年度

# 避難行動要支援者対策 ～災害弱者をつくらない～

災害が発生した際に、高齢者や障がい者の方々等は、健常者に比べて避難時に特別な対応が必要な場合が多く、また、避難生活においてもより大きな困難を伴うことがあります。

この研修では、制度や現状、課題を踏まえ、避難行動や避難所での生活が困難であると考えられる方々(避難行動要支援者)への、平時の取組から災害発生後までの切れ目ない支援について考えます。

## 研修の ポイント

- 避難行動要支援者対策の必要性や、どのような支援が求められているのかを学びます。
- 平時の取組から災害発生後のケアまでの切れ目のない支援（支援体制の構築、安全な避難、避難生活）について考えます。
- 防災部門や福祉部門、福祉専門職（ケアマネや相談員等）、地域住民との連携について、考えます。

## 開催要領

日 程

令和8年11月4日(水)～11月6日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

避難行動要支援者に関わる市町村職員(防災、福祉担当課を想定)や社会福祉協議会、NPO等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

50人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。  
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経 費

15,350円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料代等を含みます。  
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和8年9月24日(木)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途にメールで通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和8年

11月

4日(水)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～15:35

**講義** 避難行動要支援者対策を考える

～自ら避難することが困難な人をどう支援するか～

新潟大学 危機管理本部危機管理センター 特任教授 田村 圭子 氏

避難行動要支援者対策をめぐる法制度や個別避難計画の取組の現状、能登半島地震等の災害を通して浮き彫りとなった課題をふまえ、避難行動要支援者の安全な避難及び避難生活のためにどのような支援が必要か、何が求められているのか考えます。

15:50～17:00

**意見交換会**

受講者同士で、所属する市区町村等の避難行動要支援者対策に関する取組内容を話し合い、課題を共有します。

17:30～

**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00～9:25

**導入講義**

大分県別府市企画戦略部政策企画課 課長補佐・防災総合連携官 村野 淳子 氏  
各事例紹介の内容について解説いただきます。

9:25～12:00

**事例紹介・意見交換** 福祉避難所の取組

～能登半島地震を振り返りながら～

石川県輪島市健康福祉部 部長 河崎 国幸 氏

コーディネーター:大分県別府市企画戦略部政策企画課 課長補佐・防災総合連携官 村野 淳子 氏

令和6年1月の能登半島地震発災時に福祉避難所を開設されたご経験、被災から3年弱が経過した現在、見えてきた課題等を踏まえながら、福祉避難所の円滑な設置・運営のためのポイントについてお話しいただきます。

その後、意見交換により、日頃からの取組と災害時・後の対応を考えます。

13:00～15:15

**講義・演習** 誰一人取り残さない防災への取組

大分県別府市企画戦略部政策企画課 課長補佐・防災総合連携官 村野 淳子 氏

石川県輪島市健康福祉部 部長 河崎 国幸 氏

これまでの講義・事例紹介・意見交換をふりかえりながら、災害発生時にはいかにして円滑に避難できるようにするのか、また、避難した後の生活においてそれぞれのニーズに応じた生活が送れるよう市町村等がどのような対策を行っていくべきか、講義・演習を通じて考えます。

15:30～17:00

**事例紹介** 防災・福祉・地域の連携による個別避難計画の作成と実際

大分県別府市企画戦略部政策企画課 課長補佐・防災総合連携官 村野 淳子 氏

災害時に避難行動要支援者を安全に避難させるために重要な「地域や専門職との連携」について、別府市の事例をご紹介します。また、この取組を踏まえて進めておられる個別避難計画の具体的な作成方法とともに、その実行性を高めるための環境整備についてもお話しいただきます。

9:25～10:35

**事例紹介** 防災と保健・福祉の連携による

地域ぐるみの個別避難計画作成の取組

千葉市総合政策局危機管理部危機管理課 課長 中野 保 氏

千葉市総合政策局危機管理部防災対策課 主査 景山 宏 氏

コーディネーター:大分県別府市企画戦略部政策企画課 課長補佐・防災総合連携官 村野 淳子 氏

災害時に避難行動要支援者を安全に避難させるために重要な「地域や専門職との連携」について、千葉市の事例をご紹介します。個別避難計画の策定補助から、実際の行動を想定した訓練まで、「実効力のある」要支援者対策の取組についてお話しいただきます。

10:50～14:10

**講義・演習** 誰一人取り残さない防災への取組

大分県別府市企画戦略部政策企画課 課長補佐・防災総合連携官 村野 淳子 氏

千葉市総合政策局危機管理部危機管理課 課長 中野 保 氏

千葉市総合政策局危機管理部防災対策課 主査 景山 宏 氏

事例紹介をふまえながら、避難行動要支援者に対して平時からどのように取組を進めていくことが重要なのか、講義・演習を通じて考えます。

14:10～14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和7年度 研修受講者の声 ～研修アンケートから～

- 個別避難計画の必要性が理解できた。いまからできること、他の人とも共有したい。
- 今までの認識とは違うことが多くあり、改めて正しく理解し直すことができた。
- 福祉と防災両方の職員がいることで、普段把握していない視点で考えることが出来た。
- 今回の講義を通して、課題が見つかった。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。